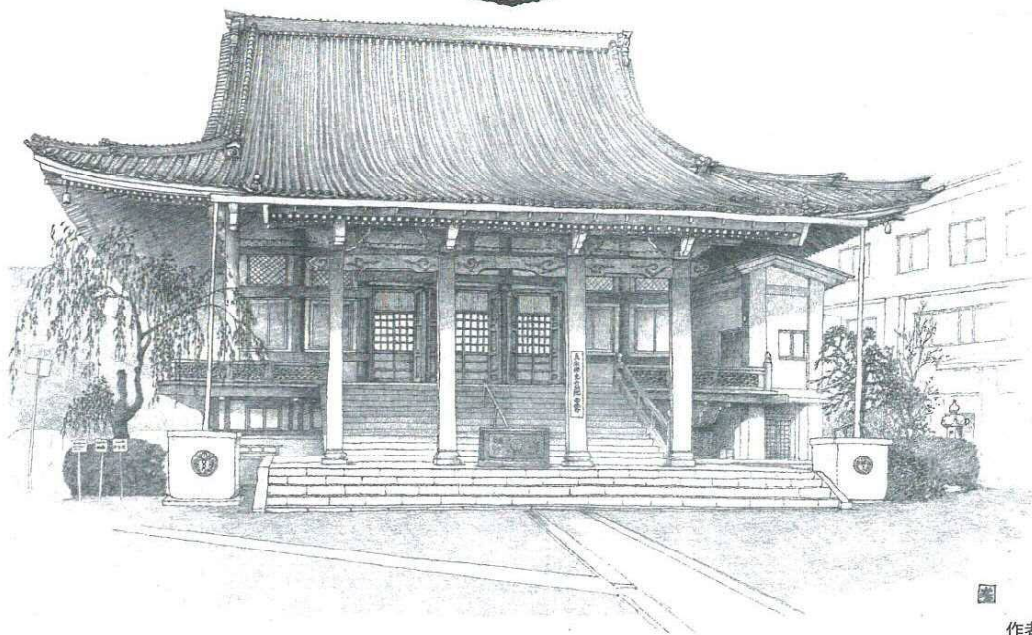


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
http://saitokuji.tobihiro.jp/
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



暮らしの中の仏教

墓石への法名刻みはお問い合わせください。



作者：安住孝史氏

新年明けましておめでとうございます

昨年は大変お力添えを賜り有り難く心より厚くお礼申し上げます。
本年も変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。
皆様方の「西徳寺開法会」「諸法要」へのご参加をお待ちしております。

令和二年 元旦



任職 脇阪義幸

最高顧問 大谷義博

職員 一同

めでたきは南無阿弥陀仏に遇えたこと

「ことしの春も『あなた』任せになん むか、ける」
「あなた」とは、「阿弥陀さま」のことです。

悲しみや、やるせなさを抱えるしかない身を丸ごと全て抱きしめてくださる、
そんな阿弥陀さまに出遇えたことが、「茶にとって」「この上もないめでたさ」でした。

「目度さまも ちう位也 おらが春」露の世は 露の世ながら さりながら」

小林 一茶

お詫ごとお願い

「年賀状」による年頭のご挨拶は、失礼させていただきます。

諸般の事情により大変勝手ながら、平成二十九年より「えこお誌」にて新年のご挨拶を申し上げ、「年賀状」による年頭のご挨拶は、失礼させて頂いております。何卒、ご理解とご了承のほど宜しくお願い申し上げます。

尚、本年中にご家族・有縁の方をお浄土におくられ、哀惜追慕の情一入でござりなされた皆様には、あらためて心よりお悔やみ申し上げます。

亡き人の深い願いに思いをいたされ、健康にご留意の上、心安らかに過ごして頂きますようお願い申し上げます。

令和二年一月

西徳寺 任職 脇阪義幸

1月の山門の言葉

いかなる昨日より今日が尊い

両瀬 正男師



えこおファイル在庫あります。

「今年こそはいい年でありますように」、深夜から列に並び、幸せを願い、手を合わせる。正月恒例の初詣、多くの人が未来に希望をいただき、お賽銭の額に見合わない要求を仏様や神様に投げかける。一方で「あの頃はよかった、私の時代はこうだった」と過去にいつまでも執着し、過去の自分から離れることができない。

一歳八か月の息子は、疲れ果てて眠るまで全力で遊ぶ。全力で食べ、全力で泣き、全力で寝る。一日一日が完全燃焼である。しかし私たちは、いつの頃からか手を抜き、後先を考えるようになり、後悔することを覚える。今を力いっぱい生きられなくなっているのだ。

今を生きたとは、明日自分の命が終わっても後悔しない生き方だと教わる。明日の予定を気にし、昨日の出来事に固執する私は、果たして今日を大事にいただいているだろうか。慌ただしい日々の生活に追われ、気づけば「あつ」という間に過ぎていく我が人生。一日を完全燃焼していく子供の姿は、私にはいきいきとして輝いて見える。

昨日でなく明日でもない、ましてや誰かと比べてでもない。今日一日を完全燃焼していく生活こそが念仏の生活である。年始にあたり、先の事ばかり気にしている自分自身の在り方が、今問われている。

(蓮井 邦宗 記)



私は
こころ聞いた!!



十二月に掲げた
山門の言葉

「技術の進化と
引き換えに
人間の感覚は
退化する」

を皆さんはどう聞いたのか、
お尋ねしました。

人間の体はよくできたもので、省エネのために使わない機能はすぐに衰えます。非常に分かりやすい事例をあげていただきました。何事にも良い面、悪い面がありますが、日頃は良い面1つで安堵してしまいがち。そんな自分を見直す機会としていきたいです。
(30代 僧侶)



技術の進化により、乗り物などが安全で快適になることは、とてもありがたいことだと思います。でも、一方で“乗りこなす喜び”や“操る楽しさ”などはどこかに行ってしまうのでしょうか。

ワタシはバイクに乗るのが好きなのですが、もし、AIが運転してくれる全自動のバイクが発売されたとしても、きっと乗らないでしょう。「只今を生きる」という感じて、夢中で一所懸命になっているときにこそ感じられると思うので、そういうときを大事にしたいな、と思います。また、夢中になっているときにこそ、今に感謝する気持ちも持てるのかなと思います。

(バイク乗り 男性)



一度泳げれば、何十年経っても泳げるという。時代の先端を担い、戦中・戦後生き延びた先人たちは、どんなに技術が進歩しようと、時代についていき、古い技術が必要な時は、体、脳が感覚を思い出していた。感覚は鈍るが退化はしない。その先人たちの作った道の上に、我々は立っている。

(50代 自由業)

山崎&蓮井 が 行ってみた

今回は昭和32年創業の江東区東雲に本社がある老舗佃煮屋「佃宝」さんに行ってきました。材料にとことんこだわり続けて60年以上。「佃煮作りに終わりは無い。立ち止まればそれ以上の味を求めることができない」という初代創業者、水谷豊夫さんの教えを守り続け、進化し続けている佃宝さんの姿はとても魅力的なものでした。

おちゃめで底抜けに明るい秀子さん。従業員のお昼を作ったりと、「社長」よりも「お母さん」がしっくりくる印象でした。人とのつながりが大切だと秀子さん。電話じゃなく、とにかく顔を合わせて覚えてもらうことが一番だといい、暇なく多方面に動かれる姿は年齢を感じさせません。



2代目社長の水谷秀子さん(手前)と先代で夫の豊夫さん(写真)とつくたろう君(笑)



①全部で釜は12個あります。今回特別に写真を撮らせてもらえました!



②釜ごとに火の調節をします。長年の勤がたよりだそうです。



③30年以上使っている鍋もあるそうです。

物が無かった頃からの教えで物を大事にする佃宝さん。30年以上前の鍋が今も現役で使われています。佃煮の命ともいえる醤油は銚子からタンクローリーで取り寄せ、専用の冷蔵庫で保管し、お酒も新潟の日本酒を使用しています。水は脱気水(空気をぬいた水)といわれるもので、それで豆を茹でると豆が酸素を取り入れようと大きく膨らみ、ふっくらと仕上がりに且つ煮崩れしないそうです。その豆は形が崩れないように一つ一つ従業員さんが手作業で皮を剥いておられるそうです(もちろん秀子社長も一緒に)。

釜はいったん煮立つとその後は沸騰しないように水を入れたり火力を調節したり灰汁を取ったりと目が離せなくなります。現在その作業を一手に担っておられるのが専務の鈴木さんです。「レシピはあるけれども、最後は自分の勘をたよりにするしかないんです」と笑いながら話されていました。



ザ・社長室



猫が大好きな水谷さんの社長室にはたくさんの猫の置物がありました。



第十八代中村勘三郎丈も愛した佃宝のふき豆



1月24日から3年間限定で豊洲市場に出店することが決まった佃宝さん。これからの佃宝さんに目が離せません!!

佃宝本店(東京都江東区東雲2-2-8)
Tel: 03-3529-2940
HP: www.tsukuhou.com/ (動画が掲載されています)



カレンダーのことは

令和2年1月号



めでたきは

南無阿弥陀仏にあ遇えたこと

「愛めでると「痛いた(甚いた)い」という二つの言葉で「めでた
い」という。痛みを感じる程の愛おしさ、それを日本人
は「忝かたじけい」と感覚してきた。どこまでもいただきものと
感じ、反面、自分中心のお粗末な生き方への恥はずかしさ
が混まり合う。

不安・不満・悩み・苦しみに事欠かないその只中に、
微かにそして確かな感動を感じるからこそ、めでたき
ことではないだろうか。

忝かたじけくも頂いた今日一日。“当たり前”を破る教えを共
に聞いて行きたい。

(山崎 哲)

城南・城西ブロック会合同主催『秋の散策』

去る11月23日(土)、13名の方にご参加いただき、城南・城西ブロック会合同主催『秋の散策』に出かけました。

広尾駅から有栖川記念公園を散策し、麻布山 善福寺様へお参りました。

本堂にて、大谷顧問と脇阪住職よりご法話いただき、その後、場所を移して参加者の皆様と懇親を深めました。

今後もブロック会の枠を超え、多くの方と交流出来ればと思っております。

(城南担当:山崎 城西担当:大橋)



佛教青年会報恩講

11月19日(火)、佛教青年会【報恩講】をお勤めいたしました。

正信偈をお勤めした後、流山市にある、真宗大谷派源正寺の不二門至浄師ふじかどしじょうより、「悪をもおそれず」という講題で法話をいただきました。

共に「悪とは何か」、「救いとはどういうことか」考えさせていただきました。懇親会ではお酒が入って更に盛り上がり、賑々しく報恩講をお勤めいたしました。(担当 仲井 真裕 記)



城北ブロック会 聞法会

11月17日(日)、池袋くいもの屋わんにて、城北ブロック会聞法会を開催しました。

法話のテーマは『正信偈』の「極重悪人はただ仏を称すべし」。他を悪と批判する私たちに、親鸞聖人は「わが身こそ悪である」と教えてくださいます。救いを求めて迷う私の前に、「また来るからね」と仰っていただく皆様の笑顔が輝いていました。

次回は3月8日(日)、北区王子にある北とぴあにて聞法会を開催いたします。どうぞお気軽にご参加ください。(担当 仲井 真裕 記)



えこお志お礼

品川区 市田 幸子 様

ご浄財を頂戴いたしまして
ありがとうございます。
ご芳名の掲載をもって
お礼とさせていただきます。

今月の予定

令和2年1月

1日(水)	午前7時	修正会
11日(土)	午後2時	第8回燈炬塾
11日(土)	午後3時15分	混声合唱団「エコー」練習
18日(土)	午後1時半	定例聞法会
19日(日)	午後3時半	評議員会新年会
22日(水)	午後1時半	『歎異抄』に聞く 講師:宗 正元師
25日(土)	午後3時15分	混声合唱団「エコー」練習
25日(土)	午後5時半	同行会新年会
26日(日)	午前11時	婦人会新年会
28日(火)	午後7時	仏教青年会『歎異抄』に聞く 講師:宗 正元師

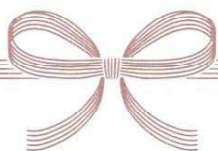
2月

2日(日)	午後2時	城東ブロック会聞法会
8日(土)	午後6時	同行会「宗祖親鸞聖人」に聞く 法話:大谷顧問

※年間予定の2月16日(日)城南ブロック会聞法会の日程が2月23日(日)に変更となりました。



「二代墓地」新設置、受付中。



Relation ~縁~

Relation: 関係、関連、結びつき

今回「行ってみた」で取材をさせていただいた佃宝さん。「会社」よりも「家族」という言葉のほうがしっくりくる印象でした。それも社長さんのお人柄や従業員への接し方がそう思わせているのだと感じました。この取材で一番感動したのが、若い従業員の方が「春菊をゴマで和えたのを作ってみました。よかったら食べてください」と私たちに持ってきてくれたことです。若い人も誇りと責任をもって自分の仕事をしている、何より楽しそうに仕事をしておられました。私自身の在り方を問われているようでした。

この度は年末の一番忙しい時に快く取材を引き受けてくださり、この誌面を借りてお礼申し上げます。佃宝さん、誠にありがとうございました。(蓮井 邦宗 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook